

19 分 科 会

分科会は8分科会及び特別分科会とし、それぞれのテーマ、研究方針、研究の視点は次のとおりとします。

＜第1分科会＞ 新たな時代の保育実践 ～すべての子どもにむけて～

〔助言者〕桜美林大学 健康福祉学群 教授 福田 きよみ 氏

子ども・子育て支援新制度では、「保育の必要性（の認定）」に基づいて、保育が提供されます。

また、幼児期の教育・保育、地域の子ども・子育て支援を総合的に推進するとの子ども・子育て支援法の趣旨から、認定こども園制度を改め、学校及び児童福祉施設としての法的位置づけをあわせ持つ新たな幼保連携型認定こども園が創設されました。

保育所は、これまで保育所保育指針に基づき、児童福祉施設として、各保育所における創意工夫のもと、保育実践をすすめてきました。認定こども園では、保育所保育指針を踏まえた「認定こども園教育・保育要領」に基づき、保育が展開されます。

本テーマでは上記実践のもと、子ども一人ひとりの健やかな育ちを保障し、保育の質を向上していくための手法や、さらに今後の保育をめぐる動きのなかで大切にすべき保育実践の視点について研究を深めます。

＜第2分科会＞ 配慮を必要とする子どもや家庭への支援にむけて

〔助言者〕明星大学 教育学部教育学科 教授 星山 麻木 氏

保育所・認定こども園等では、発達障害、医療的ケア児、要保護児童など配慮を必要とする子どもの増加が指摘されてきています。また保護者自身が生活面など何らかの課題をもち、子育てに困難が生じるケースも増えています。

本テーマでは、こうした子どもや保護者に対する保育・子育て支援関係者としてのかかわり方、あるいは保育者としていかに寄り添い、支援をおこなうべきかについて研究を深めます。

＜第3分科会＞保育者の資質向上を図り、保育現場の魅力を発信する

〔助言者〕 和泉短期大学 児童福祉学科 教授 松山 洋平 氏

保育所・認定こども園等における今日的状況として、職員の就業形態や雇用形態の多様化とともに働き方改革がすすめられています。職員間の連携、チームワークの形成や、職場全体としてのスキルアップとともに、働きやすい職場づくりに一層留意する必要があります。

子ども・子育て支援制度施行後、多様化する利用者のニーズに対応するとともに、保育現場の魅力を発信しながら、人材の確保・育成に努めていく必要があります。

本テーマでは、保育所・認定こども園等の内外の研修や情報共有のあり方、保育者の自己評価など、職員の資質向上にむけた効果的な実践と保育現場の魅力発信の取り組み、さらには保育現場に求められる働きやすく、やりがいのある職場づくりについて研究を深めます。

＜第4分科会＞ 地域の子育て家庭への支援の充実にむけて

〔助言者〕 青山学院大学 教育人間科学部心理学科 教授 坂上 裕子 氏

保育所保育指針においては、保育所の役割として、保護者に対する支援と地域における子育て支援が明確に位置づけられています。また、新たな幼保連携型認定こども園では、子育て支援の実施が義務付けられています。

一方で地域のつながりが弱まるなか、子育てに孤立感や孤独感を深めている家庭へのアプローチが、とくに重要な取り組みとなっています。

本テーマでは、地域子育て支援における保育所・認定こども園等の機能や、保育者に求められる知識や技術を、いかに地域支援に活かしていくかなど、地域の子育て家庭に対する支援のあり方について、研究を深めます。

＜第5分科会＞ 子どものより良い育ちと安全・安心の環境づくりにむけた
関係機関とのネットワーク

〔助言者〕 玉川大学 教育学部乳幼児発達学科 教授 若月 芳浩 氏

子どものより良い育ちにむけ、保育所・認定こども園等、小学校さらに中学校との連携は、子ども一人ひとりの成長を連続的にとらえる視点として重要です。

また、子ども・子育て制度では各市町村で策定された「子ども・子育て支援事業計画（都道府県においては子ども・子育て支援事業支援計画）」に基づき事業実施が行われ、各地域の保育施策の充実化にむけては、社会福祉法人をはじめとする保育・子育て支援関係者と各地域の行政機関等との連携や、信頼関係の構築もいっそう大切となります。

さらには、子どもの貧困に起因する課題への対応、児童虐待予防、病児・病後児保育、さらには災害対応など、保育所・認定こども園等単体のみならず、地域の関係各機関と連携・協働をもってすすめるべき取り組みは多くあります。

本テーマでは、子どものより良い育ちにむけた、多様な機関との連携・協働のすすめ方や保育所・認定こども園等が果たすべき役割などについて研究を深めます。

＜第6分科会＞ 家庭や地域との連携による食育の推進

〔助言者〕 相模女子大学 栄養科学部健康栄養学科 特任教授 堤 ちはる 氏

乳幼児期の食育の推進は、「食べる」ことや「いのち」への関心、さらに適切な食習慣の形成において大変重要です。そして食に関する家庭との相互理解、さらには地域子育て家庭にむけた食育実践や地域の食文化継承などの視点から、保育所・認定こども園等のみならず家庭や地域との連携のもとで実践を進めることが必要となります。

さらに保育現場では、自園調理の意義や有用性の確立ならびに、食物アレルギーをもつ子どもへの対応等も大きな課題となっています。

本テーマでは、保護者、家庭や地域と連携した食育の実践、食物アレルギーへの対応、食をとおした保育実践のあり方などについて研究を深めます。

＜第7分科会＞ 保育の社会化にむけて～保育の営みをいかに社会に発信するか～

〔助言者〕大妻女子大学 家政学部児童学科 教授 岡 健 氏

少子化や核家族化がすすむなか、社会における人と人、とくに子どもとおとながつながる場面が少なくなりつつあり、社会における子ども・子育てへの関心低下につながっています。こうしたなか、子育て家庭や保育関係者にかぎらず、すべての人が子どもや子育てに関心をもつ取り組みが、安心して子どもを産み育てることができる社会づくりにむけて大切です。

本テーマでは、保育所・認定こども園等の地域にむけた諸活動の展開により、広く地域や国民に対して子ども・子育てへの関心や保育の営みの重要性を発信し、地域全体で子育てを考えていく取り組みについて、研究を深めます。

＜第8分科会＞ 公立保育所・公立認定こども園等の使命と地域社会での役割

〔助言者〕東京都市大学 人間科学部児童学科 准教授 園田 巖 氏

保育・子育て支援の今日的な流れにおいては、都道府県や市町村に保育制度・施策に関する責務が増大する方向性であり、保育の質やその実践において地域間格差が進むことが懸念されます。

本テーマでは、地域全体の保育の質の向上にむけた公立保育所・公立認定こども園等の意義や役割意識の普及、行政機関でもある特性を活かした具体的実践のあり方などについて研究を深めます。

＜特別分科会＞ 宇宙開発最前線 ～困難を乗り越え目的を達成していくために～

講 師：宇宙航空研究開発機構（JAXA）

宇宙科学研究所 教授 津田 雄一 氏

2024年1月20日未明、JAXAが開発した小型探査機「SLIM（スリム）」がピンポイントでの月面着陸に成功し世界中の注目を集めています。

また、2020年12月にサンプルリターンに成功した「はやぶさ2」は、別の小惑星へ向かう拡張ミッションが進められています。

開発や試験が行われた宇宙航空研究開発機構（JAXA）相模原キャンパスは、東京から約40km西方に位置し、丹沢山地をのぞむ静かな環境の中で、太陽の活動や月・惑星、ブラックホール、銀河の成り立ちなど、宇宙に関するさまざまな謎を研究しています。

宇宙は、子どもたちの心が躍る魅力に満ち溢れています。また宇宙には、理科だけでなく、様々な教育活動で活用できる素材があるといわれています。

私たち保育者が宇宙の魅力に触れ、学ぶことで、保育の幅を広げ、好奇心で満ち溢れる子どもたちの明るい未来へとつながっていくことを願います。

この分科会では、JAXA相模原キャンパス及び隣接する相模原市立博物館の見学を通じ、宇宙開発最前線の雰囲気を感じていただくとともに、JAXA教授より宇宙開発に係る様々な困難やそれを乗り越えていくために大切なことなどについてお話をしていただきます。

「諦めないで取り組みれば必ず目標に近づく」というメッセージを、未来を担う子どもたちに伝えていきたいと思います。

また、相模原市ではリニア中央新幹線の開業に向け、神奈川県駅（仮称）の建設が進められておりますので、最後に工事の様子を見学できる「さがみはらリニアひろば」も見学できます。

※ご希望の方はご案内いたします。

＜当日のスケジュール＞

バスで博物館へ移動

① 9:30～博物館見学

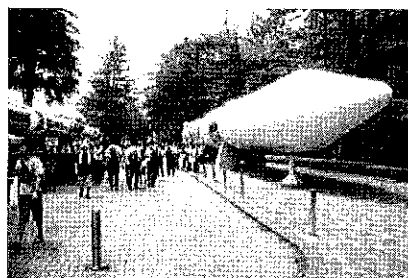
② 10:30～JAXA講師による講演会
（博物館にて）

③ 12:00～昼食（博物館にて）

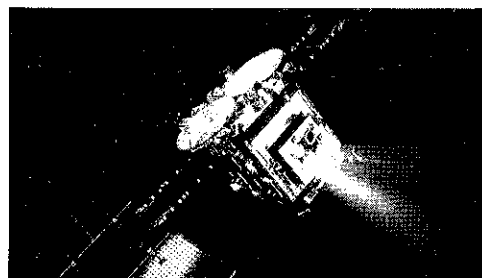
④ 13:00～JAXA施設見学

⑤ 14:00～バスで橋本駅へ移動・解散

※ 14:30～さがみはらリニアひろば
見学（自由参加）



「提供：宇宙航空研究開発機構」



「提供：宇宙航空研究開発機構」

※「さがみはらリニアひろば」の視察につきましては、天候等により視察できない場合がございますので予めご了承ください。

20 資料等の各都県指定都市の提出(納入)期限

- ① 分科会における意見発表原稿 4月 25日(金)
 ② 都県指定都市負担金納入 5月 9日(金)

21 参加者割当(予定)

区分	施設数	割当人数	率(%)	区分	施設数	割当人数	率(%)
千葉市	171	22	13	川崎市	170	22	13
栃木県	224	29	13	埼玉県	796	103	13
群馬県	379	50	13	長野県	543	71	13
山梨県	190	25	13	東京都	1,502	195	13
静岡県	622	81	13	横浜市	421	54	13
神奈川県	335	44	13	新潟県	637	83	13
茨城県	510	66	13	相模原市	108	53	
千葉県	785	102	13	合計	7,354	1,000	

22 分科会意見発表・議長割当

◎…意見発表割当 ○…議長割当

…令和7年度全国大会意見発表分担

分科会番号	1	2	3	4	5	6	7	8	特別	◎合計	○合計
千葉市		◎			○	◎				2	1
栃木県	○		◎	◎						2	1
群馬県		○			◎			◎		2	1
山梨県				○		◎	◎			2	1
静岡県				◎		○		◎		2	1
神奈川県	◎					◎	○			2	1
茨城県		◎			◎			○		2	1
千葉県			◎		○		◎			2	1
川崎市	◎			◎		○				2	1
埼玉県			○				◎	◎		2	1
長野県	○		◎		◎					2	1
東京都	◎		○	◎						2	1
横浜市			◎	○				◎		2	1
新潟県		◎			◎		○			2	1
相模原市	◎	○					◎	○	◎○	3	3
◎合計	4	3	4	4	4	3	4	4	1	31	
○合計	2	2	2	2	2	2	2	2	1		17

【昼食会場のご案内】

※大会 1 日目（7/3）昼食会場をご用意させていただきますので、ぜひご利用下さい。

相模原市民会館（全体会会場）		
第2大会議室(2 階)	第1 大会議室（3 階）	第3 中会議室（4 階）

「第 65 回関東ブロック保育研究大会」における
事故防止及び公衆衛生のための措置について

大会参加者のみなさまに有事の際の避難経路を確認いただきたく、体調のすぐれない方の来場を控えていただく等の事故防止及び公衆衛生のための措置を講じて開催致しますので、ご協力をお願いします。

宿泊ホテル一覧

No	ホテル名	最寄り駅からの距離	部屋タイプ	宿泊金額
1	ホテルクラウンヒルズ相模原	JR 横浜線相模原駅 徒歩 2 分	シングル	9,600円
2	東横 INN JR 横浜線相模原駅前	JR 横浜線相模原駅南口 徒歩 3 分	シングル	8,500円
			ツイン	12,100円
3	東横 INN 京王線橋本駅北口	JR 横浜線・京王相模原線 橋本駅北口 徒歩 5 分	シングル	9,300円
			ツイン	9,800円
4	アイホテル橋本	JR 横浜線・京王相模原線 橋本駅北口 徒歩 5 分	シングル	9,800円
5	東横 INN 横浜線淵野辺駅南口	JR 横浜線淵野辺駅南口 徒歩 5 分	シングル	9,800円
			ツイン	13,800円
6	アパホテル相模原古淵駅前	JR 横浜線古淵駅 徒歩 3 分	シングル	9,700円
7	ホテルリソル町田	JR 横浜線町田駅北口 徒歩 4 分 小田急線町田駅西口 徒歩 2 分	シングル	12,200円
8	東横 INN 町田駅小田急線東口	小田急線町田駅 徒歩 4 分 JR 横浜線町田駅 徒歩 7 分	シングル	9,400円
			ツイン	9,800円
9	レンブラントホテル東京町田	小田急線町田駅 徒歩 10 分 JR 町田駅 ターミナル口 徒歩 2 分 中央改札 徒歩 7 分	シングル	14,800円
			ツイン	14,800円